

秋田県ジオパーク研究事業助成金交付申請書

記載例

平成30年5月20日

※申請期限内の日付であれば可。

秋田県ジオパーク連絡協議会長様

住所 秋田県男鹿市船川港船川字泉台 66-1
団体名(所属) 男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会
代表者名(氏名) ジョ 太郎
電話番号 0185-24-9104
E-mail geopark@city.oga.akita.jp

印

※押印すること。

平成30年度において秋田県ジオパーク研究助成事業を下記のとおり実施したいので、関係書類を添えて申請します。

記

1. 研究の名称 男鹿半島・大潟ジオパークにおける遺跡立地から見た八郎潟汀線の復原研究

2. 事業実施期間 交付決定後から平成31年2月28日まで

※要項上、研究成果及び実績報告の期限を申請日の翌年3月第1週金曜日を期限としているため、その日以前であること。

3. 助成金申請額 200,000円(千円未満切り捨て)

4. 希望支払区分 概算払 精算払

※支払区分について困る。概算払は交付決定後速やかに助成金額を振り込みます。ただし、精算がともなった場合には、差額を返金いただけます。精算払は実績報告書提出後、助成額が確定次第振込ます。例年翌年3月末頃の予定です。

5. 振込先金融機関 振込先: ジオパーク銀行 男鹿半島支店

預金種目: 普通 / 当座

※振込先金融機関は銀行以外の場合は、適宜変更して記載してください。銀行振り込みの可能な金融機関であれば、問いません。

口座番号: 1234567

口座名義: ジョ太郎(ジオタロウ)

6. 添付書類

- (1) 収支予算書(様式2)
(2) 研究実施計画書(様式3)
(3) 研究者略歴書(様式4)
(4) 在学証明書または身分証明書(所属機関が発行するもの、コピー可)

※申請者の所属が確認できれば、職員証や学生証等種別を問いません。

事務局使用欄

Table with 4 columns: 受付No., No., 対象ジオパーク, and a list of geoparks (男鹿半島・大潟ジオパーク, 八峰白神ジオパーク, etc.).

### 収支予算書

※その他、特に記載すべき収入があれば、適宜欄を追加して記載すること。

#### 【収入の部】

科目	予算額 (円)	内 訳
秋田県ジオパーク 研究事業助成金	200,000 円	※様式 (1) の申請金額と一致させること。
その他補助金・研究費 (名称を内訳欄に記載)	300,000 円	ジオパーク財団研究基金 (申請中) 100,000 円 ジオパーク研究費補助金 (H30 採択済) 200,000 円
自己資金	150,000 円	
合計	650,000 円	

#### 【支出の部】

科目	予算額 (円)	内 訳
交通費	240,000 円	4 人*2 回*30,000 円 (東京—男鹿新幹線往復)
宿泊費	80,000 円	4 人*2 回*10,000 円 (男鹿市内宿泊)
謝礼	0 円	※宿泊単価の上限は定めないが、常識の範囲内とすること。また、宿泊はできるだけ、研究対象のジオパーク域内が望ましい。
消耗品	50,000 円	10,000 円 (分析用試薬類) 10,000 円 (ファイル・野帳・USB メモリ) 30,000 円 (コピー代)
印刷費	0 円	
郵券料	3,000 円	3,000 円 (送料及び切手代)
手数料	82,000 円	82,000 円*1 点 (AMS 年代測定分析手数料)
使用料・借上料	35,000 円	12,000 円=6,000 円*2 日 (レンタカー借上げ料) 23,000 円=23,000 円*1 日 (ドローン借上げ料)
備品購入費	60,000 円	60,000 円*1 本 (地理情報解析ソフト購入)
委託料	100,000 円	2 か所ボーリング委託料
合計	650,000 円	※収入の合計と支出の合計は必ず一致させること。

※本様式記載以外の科目がある場合は、欄を追加して記載すること。

※申請中の助成金が不採択の場合は、ボーリングを 1 か所に変更し、各科目調整して全体経費から 50,000 円を減額予定

※1 点あたりの額が 20,000 円以上で、研究期間終了後も申請者の手に残る物品は備品として計上すること (パソコンソフト等は備品として計上すること)。必ず内訳を記載すること。本申請書に記載の無い備品を購入する際には、事前に必ず相談すること。実績報告で確認された場合には、支出を承諾できない場合があります。

※本助成の他、同一研究において、申請中の助成金等がある場合、不採択であった場合の、見込みを記載すること。自己資金の増加や、支出の減額等。見込みで可。

# 研究実施計画書

平成 30 年 5 月 20 日

代表者名 (氏名) ジオ 太郎

## 1. 研究の目的及び内容

### (1) 研究のテーマ

男鹿半島・大潟ジオパークにおける遺跡立地から見た八郎潟汀線の復原研究

### (2) 研究の区分 (共同研究の場合は、その氏名、所属機関・役職を記入すること)

単独研究

共同研究

ジオ 美子 (ジオパーク大学 准教授)

大潟 村男 (ジオパーク高校 教諭)

八峰 町子 (ジオパーク大学大学院 博士前期課程 1 年)

※研究協力者、分担者がいる場合は必ず記載してください。  
※本欄に記入する必要のある方は、旅費や宿泊費など、予算計上を必要とする方を想定しています。

### (3) 研究の目的及び内容 (できるだけ具体的に記述すること、先行研究、引用文献を示すこと)

男鹿半島・大潟ジオパークの主要な見どころとして、大潟村があげられる (男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会 2015)。大潟村は昭和 39 年に誕生した自治体であるが、旧八郎潟を大規模干拓して誕生した。旧八郎潟の干拓は、戦後の食糧増産を目的とした国策事業として実施された。

旧八郎潟の変遷については、これまで、遺跡やボーリング調査による貝化石等の検討から変遷図が示されており (渡部 2010・白石 2014)、男鹿半島が日本列島の一部となっていた時代から半島となるまでの変遷が明らかとなっている。

本研究では遺跡の立地を中心に、より微視的な観点から～

引用文献

男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会 2015『現況報告書 2015』

渡部 辰 2010「男鹿半島八郎潟の形成」『八郎潟物語 (第二版)』潟船保存会編

白石建雄 2014「八郎潟の生い立ち」『大潟村史』大潟村編

※出来るだけ詳細に記述してください。また、引用文献や先行研究の参考文献等も可能な限り記述してください。

### (4) 調査・研究の方法 (調査区域や地点・調査方法や日程等の概要)

#### 【調査・研究の方法】

秋田県遺跡地図情報 (<http://common3.pref.akita.lg.jp/heritage-map/>) を参考に、旧八郎潟西岸の台地上及び、低地、南岸の低地における遺跡立地を、縄文時代 (前期・中期・後晩期)、弥生時代 (前期・中期・後期) に分けてプロットし、旧八郎潟汀線の変位を復元する。また、特に縄文時代後晩期及び弥生時代前期の情報が少ないため、現地踏査及び遺跡存在可能性地のボーリング、その地点における AMS 年代測定を行う。なお、八郎潟西岸の現行水田下には、植物の腐敗土層の堆積が確認されている (男鹿市教育委員会 2008)。

さらに、～

引用文献

男鹿市教育委員会 2009『市内遺跡詳細分布調査報告書』男鹿市文化財調査報告第36集

【日程（予定）】

交付決定後～8月	遺跡地図の洗い出し、分布図作成
8月～9月	現地調査、ボーリング地点候補地の選定
8月～10月	ボーリング調査、AMS年代測定
11月～12月	成果まとめ、原稿作成
12月	論文投稿

2. 研究成果の公開見込み

(1) 本研究採択及び期間満了後の成果公開見込み（見込みの場合は投稿予定誌等を記入すること）

論文等で投稿見込み（平成30年12月頃投稿予定） 見込みなし

投稿予定誌『ジオパーク考古学』

※発行後本冊は別刷を事務局で1部寄贈してください。成果の報告に関する公開は、査読論文、レポート、書籍等その種別を問いません。刊行物として公開する予定があるか否かです。

2. 事業実施期間 交付決定日から平成31年2月28日まで

### 略歴書

#### 【略 歴】

氏 名	ジオ 太郎	年 齢	42
住 所	〒010-0595 秋田県男鹿市船川港船川字泉台 66-1		
電話番号	0185-24-9104	電子メール	geopark@city.oga.akita.jp
所属機関	男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会	役職・学年	専門員
所属学会	ジオパーク学会	専門分野	ジオパーク学

※年齢は申請年月日現在で記載して下さい。

※発表のネーム順に記載してください。発表者が4名以上の場合は、最初の3名のみ記載し、「ほか」等の記載で可とします。  
 ※記載欄が不足する場合、適宜追加して記載してください。

#### 【発表論文】

発表年	発表者	題目	掲載誌
2015	ジオ太郎・ジオ美子	○男鹿半島・大潟ジオパークにおける考古学とジオサイトの関わり	ジオパーク学会誌
2016	ジオ太郎・湯沢市子・鳥海山彦ほか	秋田県のジオパークを探る	ジオパークを歩こう
2017	ジオ太郎	○八峰白神ジオパークと湯沢ジオパークの比較文化研究	ジオパーク文化

※著書、報告書を含みます。査読付き論文の場合は題目の先頭に○を記載して下さい。

※必要項目の記載のある独自のリストの提出でも可とします。

※本記載項目が記されている独自のリストを添付することも可とします。その場合、「別紙参照」等を記載して、リストを添付してください。その場合、下段の発表経歴等も合わせて記されていれば、同一のリストでも可とします。

#### 【学会・研究大会等の発表】

発表年	発表者	演題	発表学会・研究会名
2016	八峰町子・ジオ太郎	鳥海山・飛島ジオパークと教育の取り組み	ジオパーク学会
2017	ジオ太郎・飛島好子・男鹿市子ほか	ジオサイト保護における基本的な考え方—秋田県内のジオパークを事例に、文化財保護の観点から—	ジオパーク学会

※口頭発表、ポスター発表を含みます。

※必要項目の記載のある独自のリストの提出でも可とします。